Bluetooth® Headset

Owner's Guide | Guía de usuario | คู่มือผู้ใช้
사용자 안내서 | 用户指南 | 使用者指南 | دليل المالك | オーナーズガイド

安全上の留意項目

ご使用前に、下記の「留意項目」をよくお読みになり、正しくお使いください。

この「安全上の留意項目」は、製品を安全に正しくお使いいいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するため、いろいろな絵表示をしています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

絵表示について

警告 この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示します。

注意 この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が損傷を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示します。

△記号は警告･注意を促す内容があることを告げるものです。

⊘記号は禁止の行為であることを告げるものです(左図の場合は分解禁止を意味します)。

●記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。

⚠警告

小さな部品は幼児の手の届かないところに置く
誤飲や窒息などの危険がありますので、小さなお子様の手の届かないところに保管してください。

乗り物の運転中は使用しない
自転車、オートバイ、自動車などの運転中は、絶対にヘッドホンを使用しないでください。交通事故の原因となります。片方の耳だけのヘッドホン使用も推奨しておらず、一部の地域では法律により禁止されています。

⚠警告

大音量で長時間続けて聞かない
大きな音量で長時間続けて聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。特にヘッドホンのご使用時にはご注意ください。

危険な場所では使用しない
歩行中であっても、駅のホームや車道、工事現場など、周囲の音が聞こえないと危険である場所での使用はお止めください。事故の原因となります。

火災や感電の危険性を低減するために、機器を雨や湿気にさらさない

⚠警告

機器内部に水をかけたらしたり、花びんのように水を満たしたものをそばにおかない
他の電気製品と同様に、機器内部に水分をこぼしたりしないでください。故障や火災の原因となります。

水の近くまたは湿度の高い場所で使用しない
機器内部に水が入った場合、火災や感電の原因となります。

本体のカバーを外したり、分解や改造をしない
火災や感電、けがの原因となります。内部の点検や修理は、販売店にご依頼ください。

機器のそばに、ろうそく等の火のついているものを置かない
引火して火災の原因となります。

⚠注意

装身具と併用しない
イヤリング、ピアスなどの耳に付ける装身具とヘッドホンを併用すると、けがの原因となることがあります。また、ヘッドホンの性能が損なわれたり、ヘッドホンを傷付けたりすることがあります。

お肌に異常が生じた場合は使用しない
万一ご使用によってお肌にかぶれなどの異常が生じた場合は、直ちにヘッドホンの使用を止め医師にご相談ください。

⚠注意

磁石を使用したものをペースメーカ–の植込み部位の上に置いたり、胸ポケットに入れないでください
磁気がペースメーカ–の作動に影響を及ぼす恐れがあります。万が一ペースメーカ–に磁石を当ててしまった場合には、直ちに取り除いてください。

音の聞こえ方の変化に注意する
ヘッドホンを使用した時、確認や注意喚起のための音声が普段と異なった感じで聞こえることがあります。必要な時に認識できるように、どのような変わり方をするかをご確認ください。

電源を入れる前には音量を最小にする
突然大きな音が出て、聴力障害などの原因となることがあります。

ほこり、油煙、湯気、湿気、高温の場所に置かない
ほこり、油煙、湿気の多い場所や、直射日光の当たる場所、直接ライトが当たる場所、高温になる車の中などには置かないでください。故障の原因となります。

ゴムやビニール製品に本体を長時間接触させない
外装が変質し跡が残ることがあります。

●電池について

⚠警告

使用禁止

指定の充電器を使用して充電する
指定以外の充電器、ACアダプターで充電すると、発熱や破損、液漏れにより、火災やけが、あるいは周囲の汚損の原因となります。

禁止

電池を加熱、火の中に入れるなどしない
過度の加熱や火の中に入れると液漏れ、破裂の恐れがあります。過度に温度が上がった場合、および火中投入した場合には、電池の内圧が高まり、破裂により、火災やけが、あるいは周囲の汚損の原因となります。

注意

電池内部から漏れ出た液(電解液)には直接触れない
・液が目に入ったときは、失明などの障害のおそれがありますので、こすらずに水道水などの多量のきれいな水で十分洗った後、すぐに医師の治療を受けてください。
・液が皮膚や衣服に付着した場合には、皮膚に障害を起こすおそれがありますので、すぐに多量の水道水などのきれいな水で洗い流してください。
・液を舐めた場合には、すぐにうがいをして医師に相談してください。

火気禁止

電池が液漏れしたら火気から遠ざける
電池が液漏れしたり、異臭がする時には、直ちに火気より遠ざけてください。漏れた電解液に引火し、破裂、発火する原因になります。

⚠警告

聞こえ方の変化に注意

電池の異常に気づいたら使用を中止する
電池の使用、充電、保管時の異臭、発熱、変色、変形、その他、今までと異なることに気づいた時は、機器あるいは充電器より取り出し、使用しないでください。使用継続の場合は電池が発熱、破裂、発火する原因となります。

⚠注意

必ず実行

電池を高温になる場所に放置しない
リチウムイオン二次電池をストーブなどの熱源の脇や自動車のダッシュボードや窓際などの直射日光の当たる場所、炎天下駐車場の車内など、高い温度に放置しないでください。液漏れの原因となるおそれがあります。

禁止

電池に釘を刺したり、踏みつけたりしない
リチウムイオン二次電池に釘を刺したり、ハンマーで叩いたり、踏みつけたりしないでください。リチウムイオン二次電池が変形、保護機構が破損する可能性があり、発熱、破裂、発火の原因になります。

禁止

投げつけたりして強い衝撃を与えない
リチウムイオン二次電池に高所からの落下など強い衝撃を与えたり、投げつけたりしないでください。リチウムイオン二次電池が変形したり、リチウムイオン二次電池に組み込まれている保護機構が壊れ、異常な電流、電圧でリチウムイオン二次電池が充電される可能性があり、発熱、破裂、発火の原因になります。

⚠注意

水で消火しない
発火時には、消火のために水を使用しないでください。消化器を用いてください。水を使用すると、火災を拡大させる原因になることがあります。

過充電しない
充電の際に所定の充電時間を超えても充電が完了しない場合には、充電をやめてください。過度に充電され、バッテリーを漏液、発熱させる原因になります。

禁止

熱がこもる場所で電池の充電はしない
リチウムイオン二次電池の充電や放電中に可燃物を上に載せたり、覆ったりしないでください。リチウムイオン二次電池を発熱、破裂、発火させるおそれがあります。

正三角形に矢印付き稲妻マークが入った表示は、製品内部に電圧の高い危険な部分があり、感電の原因となる可能性があることをお客様に警告するものです。

正三角形に感嘆符が入った表示は、製品本体にも表示されている通り、この取扱説明書の中で、取り扱い上およびメンテナンス上、重要な項目であることをお客様に警告するものです。

全般的な注意事項

1.機器の使用前に、全ての説明をお読みください。
2.将来の参照用として、取扱説明書を保管してください。
3.機器および取扱説明書上に記載された警告内容にご留意ください。
4.指示にしたがってください。
5.機器外装の安全マークをご確認ください。
6.USB ケーブルが踏まれたり、挟まれたりしないようにしてください。特に電源アダプター側と製品側の端末に注意してください。
7. 指定されたアタッチメントまたはアクセサリーのみを使用してください。
8.この製品は、-20℃ 〜 45℃ の温度範囲内で操作してください。温度範囲を超える環境での使用による故障は、保証対象外となる場合があります。
9.電源アダプターは、お使いになる国/ 地域の電源電圧に合わせた入力定格電圧のものを選択してください。出力定格は 5VDC、最大 1A です。国/ 地域の電気規格に適合した電源アダプターを使用してください。

- のどに詰まらせる危険性がある小さな部品が含まれています。本製品は3歳以下のお子様がご使用になることはできません。

CE This product conforms to all EU Directive requirements as applicable by law. The complete Declaration of Conformity can be found at www.Bose.com/compliance.

●Bluetoothについて

⚠警告

本製品を分解・改造して使用しない。電波法に抵触します

使用禁止

心臓ペースメーカーまたは除細動器などを装着している人から22cm以上離して使用する

病院内や航空機の中などでは使用しない
高度な安全を要求される場所では絶対に使用しないでください。特定医療機器や航空機の計器類などの誤動作の原因となります。

本製品の使用周波数帯は2.4GHz帯です。他の無線機器も同じ周波数帯を使っていることがあり、電波干渉を防止するために、下記事項に注意してご使用ください。
本製品の使用周波数帯(2.4GHz帯)では電子レンジなどの産業・科学・医療用機器のほか、工場の製造ライン等で使用されている免許を要する移動体識別用構内無線局、免許を要しない特定小電力無線局、アマチュア無線局(以下「他の無線局」)が運用されています。
1.本製品を使用する前に、近くで「他の無線局」が運用されていないことを確認してください。
2.万一、本製品と「他の無線局」との間に電波干渉が発生した場合には、速やかに本製品の使用場所を変えるか、または機器の運用を停止(電波の発射を停止)してください。
3.その他、本製品の使用にあたり不都合やお困りのことが生じた時は、弊社までお問い合わせください。
この無線機器は2.4GHz帯を使用しています。変調方式としてFH-SS変調方式を採用し、与干渉距離は10mです。

良好な通信のために
- 他の機器とは、見通し距離で約10m以内で通信してください。建物の構造や障害物によっては、通信距離が短くなります。特に鉄筋コンクリートなどを挟むと通信できない場合があります。
- 電気製品(AV機器、OA機器)から約2m以上離してください。(特に電子レンジは通信に影響を受けやすいので3m以上離してください。)正常に通信できなかったり、テレビ、ラジオなどの場合は、受信障害になる場合があります。
- 無線機や放送局の近くで正常に通信ができない場合は、通信場所を変更してください。
- 使用しないときは、本製品の電源を切っておくことをおすすめします。他のBluetooth®機器から接続要求に応答するために常に電力を消費します。

無線LAN機器との電波障害について
- IEEE802.11g/bの無線LAN機器と本製品などのBluetooth®機器は同一周波数帯(2.4GHz)を使用するため、お互いを近くで使用すると、電波障害が発生し、通信速度の低下や接続不能になる場合があります。この場合は、使用しない機器の電源を切ってください。

テレビ/ラジオを本製品の近くではできるだけ使用しないでください
- テレビ/ラジオなどはBluetooth®とは異なる電波の周波数帯を使用しています。そのため、本製品の近くでこれらの機器を使用しても、本製品の通信やこれらの通信に影響はありません。ただし、これらの機器をBluetooth®製品に近づけた場合は、本製品を含むBluetooth®製品が発する電磁波の影響によって、音声や映像にノイズが発生する場合があります。

間に鉄筋や金属およびコンクリートがあると通信できません
- 本製品で使用している電波は、通常の家屋で使用される木材やガラスなどは通過しますので、部屋の壁に木材やガラスがあっても通信できます。ただし、鉄筋や金属およびコンクリートなどが使用されている場合、電波は通過しません。部屋の壁にそれらが使用されている場合、通信することはできません。同様にフロア間でも、間に鉄筋や金属およびコンクリートなどが使用されていると通信できません。
- サービスエリア内でも電波の届かないところでは通話できません。また、電波状況の悪いところでは通話できないところもあります。なお、通話中に電波状況の悪い所へ移動すると、通話が途中で途切れることがありますので、あらかじめご了承ください。
- 携帯電話および本製品は電波を使用しているため、第三者に通話を傍受される可能性もありますので、ご留意ください。

※Bluetooth®は、Bluetooth SIG, incの登録商標です。

特性

Bluetooth のワードマークとロゴは、Bluetooth SIG, Inc. が所有する登録商標で、Bose Corporation はこれらの商標を使用する許可を受けています。

その他の指定機関マーク

FCC ID: A94BT1R

FCC ID: A94BT1L

IC: 3232A-BT1R

IC: 3232A-BT1L

設計：アメリカ合衆国

製造：中国

Li-ion

名称および有害/危険物質または成分の含有に関する情報

有害/危険物質および成分

部品名	鉛(Pb)	水銀 (Hg)	カドミウム (Cd)	六価クロム (CR(VI))	多臭素化ビフェニル (PBB)	多臭素化ジフェニルエーテル (PBDE)
PCB	X	0	0	0	0	0
金属部品	X	0	0	0	0	0
プラスチック部品	0	0	0	0	0	0
スピーカー	X	0	0	0	0	0
ケーブル	X	0	0	0	0	0

O: この部品に使用されているすべての均一物質に含まれている当該有害/危険物質が、SJ/T 11363-2006 の制限要件を下回っていることを示します。

X: この部品に使用されている 1 種類以上の均一物質に含まれている当該有害/危険物質が、SJ/T 11363-2006 の制限要件を超えていることを示します。

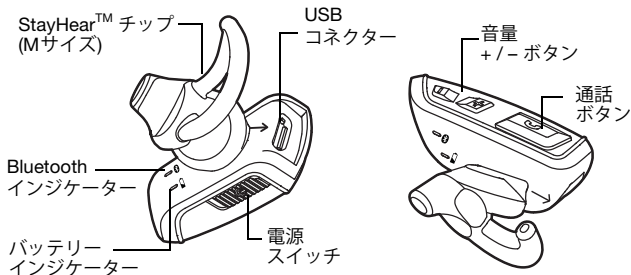
目次

はじめに

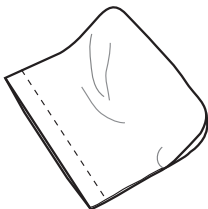
お買い上げありがとうございます

Bose® Bluetooth® ヘッドセットは、周囲の騒音が大きい場所でも、静かな場所と変わらない快適な通話を実現します。

ヘッドセットの機能

使いやすさと快適な装着感を提供するため、小型軽量化し、基本操作のために必要なボタンと表示だけを装備しています。

付属品：

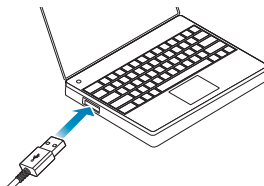
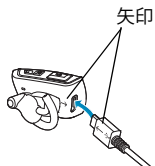
USB ケーブル

交換用 StayHear™
チップ (S/Lサイズ)

キャリングケース

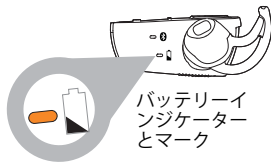
ヘッドセットの充電

通話中にバッテリー残量が不足しないよう、使用する前に**必ず**完全に充電してください。充電する場合は、室温が 5 ℃ ～ 40 ℃で、ヘッドセットの温度が室温と同じになっていることを確認してください。

注意：充電中はヘッドセットを使用しないでください。

1. USB ケーブルの小さい方のプラグをヘッドセットに差し込みます。プラグとヘッドセットの矢印を合わせて、正しく差し込んでください。

2. 大きい方のプラグを、コンピューターの USB コネクター (電源供給に対応しているUSBコネクター) に接続します。コンピューターの電源が入っていない場合は、オンにしてください。

初めて充電するときは 3 時間ほどかかる場合があります。

充電中はヘッドセットの裏側にあるバッテリーインジケーターがオレンジ色で点滅し、充電が完了すると緑色で点灯します。

注意：ヘッドセットのバッテリーは出荷時に充電済みですが、通話中にバッテリーの残量が不足しないよう、充電してからご使用ください。バッテリーについては、17 ページの「バッテリーの取り扱いについて」をご参照ください。

ヘッドセットと携帯電話の接続設定

Bose® Bluetooth® ヘッドセットの電源を初めてオンにしたとき、Bluetooth 機器としての検出と設定が可能な状態になっています。お使いの Bluetooth 対応携帯電話から、機器を検出して設定すると、ヘッドセットに接続できます。

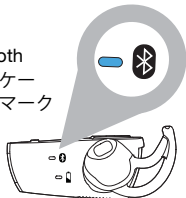
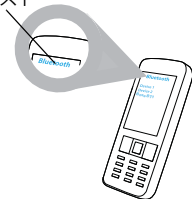
携帯電話の [ツール]、[Bluetooth 機器] などのメニュー項目から、検出した機器のリストを確認してください。この機能と設定方法についてご不明の場合は、携帯電話の説明書をご覧ください。

接続設定を行うには：

1. ヘッドセットと携帯電話の電源をオンにします。

   検出可能になると、ヘッドセットの裏側にある Bluetooth インジケーターが青くゆっくり点滅します。

2. お使いの携帯電話で、Bluetooth 機器のリストを表示します。

3. リストの中から **Bose BT1** という名前を探して選択します。

注意：Bose® ヘッドセットの名前がリストにない場合は、ヘッドセットの通話ボタンを約 5 秒間長押しして、Bluetooth® インジケーターが点滅していることを確認してください。点滅している間はヘッドセットが検出可能な状態で、リストに表示され、機器の選択ができます。

4. 携帯電話でパスキーの入力が必要な場合は、「0000」と入力して [決定] ボタンを押します。一部の電話では接続の確認が必要になる場合があります。

接続が正しく完了すると、ヘッドセットの Bluetooth インジケーターが点滅した後に青く点灯します。このインジケーターは、初めて接続設定を行ったときに 30 秒間点灯し、その後消灯します。

接続する電話を追加するには (6 台まで追加可能)：

携帯電話とヘッドセットの電源をオンにして、ヘッドセットの通話ボタンを長押しすると、ヘッドセットが検出可能な状態になります。

その後、4 ページの手順 2 ～ 4 を繰り返してください。

接続情報を消去する

使用しなくなった携帯電話の接続情報を消去するには、ヘッドセットの接続情報を記録してあるメモリーを消去してから、使用する電話との接続を再設定します。

ヘッドセットの接続情報を消去するには：

通話ボタンと音量 - ボタンを同時に約 10 秒間長押しします。ヘッドセットの接続情報が消去その後接続可能な状態になりますので、使用する携帯電話と接続する設定を再度行ってください。

ヘッドセットの使用

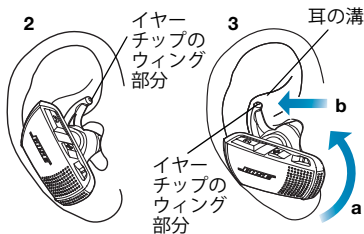
ボーズ製品の快適な装着感をお楽しみいただくために、ヘッドセットを正しく装着してください。

ヘッドセットの装着

ヘッドセットには、耳のくぼみに快適に装着できるように設計された StayHear™ イヤーチップが取り付けられています。このイヤーチップのウィング部分が耳の溝にフィットします。

適切なサイズのイヤーチップを選択するには：

1. ヘッドセットを前頭部側に倒して、イヤーピースを耳のくぼみにフィットさせます。

2. ヘッドセットが落ちない程度に、イヤーチップを軽く耳に挿し込みます。
3. ヘッドセットを後頭部側に倒して (**a**)、イヤーチップのウィング部分 (**b**) を耳の溝におさめます。

不快感がある場合

1. イヤーチップを外して、別のサイズの交換用イヤーチップに交換してください。
2. ウイングの付いている側からはがすように持ち上げて、破かないように注意してイヤーピースから外します。ウィング部分を引っ張って、チップを破損しないようにしてください。
3. イヤーピースのノズルにイヤーチップをかぶせるように差し込みます。奥まで差し込み、ノズル根元の返しの部分にイヤーチップをはめます。

4. イヤーピースのベースにチップをはめ込み、正しく固定されたかどうか確認します。

インジケーターと確認音

ヘッドセットの電源を初めてオンにすると、バッテリーインジケーターと Bluetooth インジケーターが点灯します。

- バッテリーインジケーターは充電の状態を示します。
- Bluetooth® インジケーターは、接続されている場合に青く点灯します。

ヘッドセットは、インジケーターのほかに確認音でも操作状態をお知らせします。

次のような確認音が聞こえます。

4 回の確認音 (低音から高音へ) - ヘッドセットの電源をオンにしたとき。

4 回の確認音 (高音から低音へ) - ヘッドセットの電源をオフにしたとき。

3 回の短い確認音 - ヘッドセットが携帯電話に接続されたとき。

2 回の確認音 (高音と低音) - 通話を終了したとき。

低いビープ音 (数分おきに繰り返し) - バッテリー残量が少なくなったとき。

ボタン操作ごとに 1 回の確認音 (低音から高音へ) - 音量を上げたとき。

ボタン操作ごとに 1 回の確認音 (高音から低音へ) - 音量を下げたとき。

バッテリーインジケーターの状態	Bluetooth インジケーターの状態
ヘッドセットの使用中： 緑色の点灯 – 通話 4.5 時間、待ち受け 150 時間 オレンジ色の点灯 – 通話約 1 時間、待ち受け 45 時間 赤色の遅い点滅 – 通話 30 分未満、待ち受け 22 時間	青色： 遅い点滅 – 接続設定のために検出可能 速い点滅 – 携帯電話に接続中、または通話の発信/受信中 点灯 – 接続済み
ヘッドセットの充電中： オレンジ色の点滅 – 充電中 緑色の点灯 – 充電完了 赤色の点灯 – 充電エラー (室温または機器の温度が高すぎるか、低すぎる場合)	赤色： 遅い点滅 – ヘッドセットと携帯電話が未接続。 どちらかの電源がオンになっていないか、携帯電話との距離が 10 メートル以上離れている場合

バッテリー消費量を抑えるため、ほとんどのインジケーターは 10 秒で消灯しますが、赤色とオレンジ色のバッテリーインジケーターは消灯せずに点滅し続けます。

ヘッドセットを使用して通話する

かかってきた電話を受ける場合も、こちらから電話をかける場合も、通話ボタンを 1 回押します。

ヘッドセットが操作に反応するたびに、短い信号音が聞こえます。

基本的な通話操作：

かかってきた電話を受ける：通話ボタンを押します。

電話をかける：次のどちらかの操作を行います。

- 通話ボタンを押し、音声コマンドで携帯電話の番号を選択して、番号をダイヤルします (お使いの携帯電話が音声コマンドに対応している場合)。
- 携帯電話で通話先を選択して、直接ダイヤルします。

電話を切るときは、携帯電話を操作する必要はありません。

電話を切る：通話ボタンを押します。

音量を調整する：通話中に音量 + / – ボタンを押します。または、電話側で音量を調整します。

自分の声をミュートする：音量 + / – ボタンを同時に押します。2 つのボタンをもう一度同時に押すと、ミュートが解除されます。ミュート中は30秒ごとに確認音が鳴ります。

音声を携帯電話に切り替える：通話ボタンを長押しします (1 台での通話の場合のみ)。

リダイヤルする：通話ボタンを続けて 2 回押します。

かかってきた電話を拒否する：通話ボタンをしばらく押したままにします。

通話中の相手を保留にして別の電話に応答する：通話ボタンを押します。この機能は「キャッチホン」というサービスです。

通話と保留を切り替える：通話ボタンを続けて 2 回押します。会議通話機能のある電話を使用している場合は、会議通話を保留することもできます。

会議通話のしかた：通話ボタンを約3秒間押し続けると今通話中の2人もしくはそれ以上の人と会議通話が行えます。

マルチポイント機能を使用する

マルチポイント機能を使用すると、Bose® Bluetooth® ヘッドセットを同時に 2 台の携帯電話に接続することができます。たとえば、1 台のヘッドセットで個人用と仕事用の携帯電話にかかってきた電話を受けたり、電話をかけたりすることができます。

マルチポイント機能を使用できるように電話を設定する

設定を行う前に、ヘッドセットとの接続設定が完了している電話の Bluetooth 機能を無効にしてください。

1. ヘッドセットと携帯電話の電源をオンにします。
2. ヘッドセットの音量 + ボタンと通話ボタンを同時に 5 秒間長押しすると、マルチポイント機能が有効になり、ヘッドセットが検出可能な状態になります。
3. 携帯電話の接続設定を行います。

4. ヘッドセットの電源をオフにしてからもう一度オンにし、ヘッドセットを 2 台の電話に接続できるようにします。

両方の電話の Bluetooth 機能を必ず有効にしてください。

マルチポイント機能を無効にする

マルチポイント機能の使用を止める場合、以下の手順でこの機能を無効にできます:

1. 通話ボタンと音量 - ボタンを同時に約 10 秒間長押しします。
2. ヘッドセットの電源をオフにしてからもう一度オンにします。ヘッドセットの接続情報が消去されます。
3. 使用する携帯電話と接続設定を再度行ってください。4 ページの「ヘッドセットと携帯電話の接続設定」を参照してください。

注意：ご使用になる携帯電話によっては、再度接続設定を行う前に携帯電話内の Bluetooth 機器リストから Bose BT1 を削除しなければならない場合があります。

複数の電話を接続する場合の優先順位

ヘッドセットの電源をオンにしたときは、接続されている携帯電話のうち最後に通話した電話を使用できる状態です。この電話の優先順位が 1 番になります。

- 音声コマンドを使用する場合、優先順位 1 番の電話にコマンドが送られます。

- 他の携帯電話から通話やリダイヤルを行う場合は、音声コマンドではなく手動で操作してください。その後、操作した電話の優先順位が 1 番になります。
- 2 台のうちどちらかの電話をオフにすると、もう一方の電話に優先順位が移ります。
- 使用していなかった 3 台目の携帯電話に優先順位を移すには、もう一度接続を有効にする必要があります。もう一度、この電話の機器リストから **Bose BT1** を選択してください。

マルチポイント通話のオプション

ヘッドセットを 2 台の携帯電話に接続している場合、次の操作を行えます。

通話中の相手を保留にして別の電話に応答する：通話ボタンを押します。この機能は「キャッチホン」というサービスです。

通話を終了して保留中の相手に応答する：通話ボタンを押します。

通話と保留を切り替える：通話ボタンを続けて 2 回押します。

リファレンス

故障かな？と思ったら

トラブル	対処方法
ヘッドセットに充電できない	• USB ケーブルが両側ともしっかりと差し込まれていることを確認します。 • コンピューターが電源に接続され、USB ポートに電源が供給されていることを確認します。コンピューターの電源が入っていない場合は、オンにしてください。 • 室温が 5℃ ～ 40℃ で、充電する前にヘッドセットの温度が室温同じになっていることを確認します。 **注意：**室温またはヘッドセットの温度が高すぎたり、低すぎる場合は、バッテリーインジケーターが赤色に点灯します。
ヘッドセットがうまくフィットしない。不快感がある	• ヘッドセットの左右を間違えていないか、StayHear™ チップのウィング部分が耳の溝にフィットしているかを確認します。 • イヤーチップがヘッドセットにしっかりと取り付けられていることを確認します。 • イヤーチップのサイズを変えてみます。

携帯電話とヘッドセットの接続を設定できない	• ヘッドセットと携帯電話の電源がどちらもオンになっていて、携帯電話の Bluetooth® 機能が有効であることを確認します。詳細は携帯電話の説明書を参照してください。 • ヘッドセットの電源をオフにしてから、もう一度オンにします。 • 通話ボタンを 5 秒以上押して、ヘッドセットが検出可能かどうか確認します。 • 電話とヘッドセットの間が 10 メートル以上離れていないことを確認します。
携帯電話とヘッドセットを接続できない	• 両方の電源がオンになっていることを確認します。 • ヘッドセットの電源をオフにしてから、もう一度オンにします。電話とヘッドセットの間が 10 メートル以上離れていないことを確認します。 • 携帯電話の Bluetooth 機器リストで、**Bose BT1** が選択されていることを確認します。 – 選択されている場合は、リストから一度削除します (詳細は携帯電話の説明書を参照してください)。 – リストから削除したら、4 ページの「ヘッドセットと携帯電話の接続設定」の手順をもう一度実行します。 • ヘッドセットの通話ボタンと音量 – ボタンを 10 秒間長押しして、メモリーを消去します。

ヘッドセットの音がはっきり聞こえない	• 通話中に、携帯電話を操作するか、ヘッドセットの音量 + / – ボタンを押して音量を調整します。 • 携帯電話の電波状況をチェックします。 • 携帯電話とヘッドセットの間が 10 メートル以上離れていないことを確認します。 • ヘッドセットを装着しなおします。6 ページの「ヘッドセットの装着」を参照してください。
通話相手の声がはっきり聞こえない	• ヘッドセットを携帯電話に近づけます。 • 電話の近くに他の無線機器がないか確認します。 • 風が強い場合は風の当たらない場所に移動します。 • ヘッドセットを装着しなおします。6 ページの「ヘッドセットの装着」を参照してください。
通話が途中で切れる	• ヘッドセットの電源がオンになっていて、充電されていることを確認します。 • 携帯電話とヘッドセットの間が 10 メートル以上離れていないことを確認します。 • 携帯電話の電波状況をチェックし、バッテリーが十分に充電されていることを確認します。
ヘッドセットが使っていない電話に接続される	• 5 ページの「接続情報を消去する」を参照してください。

お問い合わせ先

故障および修理のお問い合わせ先
ボーズ株式会社　サービスセンター　0570-080-023
PHS、IP電話からは、Tel 03-5489-1124へおかけください。
住所 〒206-0035 東京都多摩市唐木田1-53-9 唐木田センタービル

製品等のお問い合わせ先
ボーズ株式会社 ユーザーサポートセンター　0570-080-021
PHS、IP電話からは、Tel 03-5489-0955へおかけください。

お手入れ方法

バッテリーは、正しく扱うことで寿命を延ばすことができます。ヘッドセット、StayHear™ チップ、およびノズルのメッシュカバーはユーザーがお手入れできます。

バッテリーの取り扱いについて：

A.使用にならないときは電源をオフにしておいてください。
B.数ヶ月以上バッテリーを保管する場合は、完全に充電してから保管してください。

ヘッドセットを清掃するには：

外装は柔らかい布でから拭きしてください。洗剤やスプレーなどは使用しないでください。

イヤーチップを清掃するには：

イヤーチップを破かないように注意してイヤーピースから外します。水に中性洗剤を溶かした溶液で洗い、水ですすぎます。乾いた柔らかいクロスを使用して、イヤーチップを拭きます。
水分がヘッドセットの内側に入らないようにご注意ください。

ノズルのメッシュカバーを清掃するには：
イヤーチップを破かないように注意してイヤーピースから外します。乾いた柔らかいクロスを使用して、メッシュカバーを軽く拭きます。クロスをメッシュに押し付けるとヘッドセット内にほこりが落ちる場合があります。ご注意ください。

保証

保証の内容および条件は付属の保証書をご覧ください。

仕様

重量：12 グラム

温度について：
製品の使用時：-20℃ ～ 45 ℃
製品の保管時：-20℃ ～ 45℃
バッテリーの充電時：5℃ ～ 40℃

バッテリー：
充電式リチウムイオンポリマー電池 (交換不能)
充電時間：フル充電まで 3 時間
フル充電されたバッテリーによる使用時間：通話 4.5 時間、待ち受け 150 時間

Bluetooth® QD ID: B016580

バージョン 2.1 EDR (Enhance Data Rate) および Secure Simple Pairing (SSP)

プロファイル：ヘッドセット (HSP 1.1) およびハンズフリー (HFP 1.5)

取り替え用パーツについて

- StayHear™ チップなどの取り替え用パーツのご注文は、お買い上げの販売店までお問い合わせください。

Bose Corporation

USA
The Mountain,
Framingham, MA, 01701
877-335-2073
owners.Bose.com

Canada
9133 Leslie Street,
Suite 120, L4B 4N1
877-701-2175
www.Bose.ca

Australia
Unit 3/2 Holker
St.Newington NSW, 2127
1800 023 367
www.Bose.com.au

Belgique/Belgie
B-3700 Tongeren
012-390800
www.Bosebelgium.be

China
2203-2305 22F, West Gate
Tower/1038 West Nanjing
Road-MeiLongzhen Plaza,
Shanghai, 200041
86-22-62713000 ext. 162
www.Bose.cn

Denmark
2605 Brondby
04343-7777
www.Bose.dk

Deutschland
D-61381 Friedrichsdorf
06172-71040
www.Bose.de

France
78100 Saint Germain en
Laye
01-30616363
www.Bosefrance.fr

India
Shriram Bhartiya Kala
Kendra, 1 Copernicus
Marg, New Delhi, 100-001
91-11-2307-3825-3826-
3827
www.Boseindia.com

Ireland
Castlebury Road,
Carrickmacross, Co
Monaghan
042-9671500
www.Bose.ie

Italia
Via della Magliana 876
Roma, 00148
06.60.292.555
www.Bose.it

Japan
Karakida Center bldg.,
1-53-9 Karakida,
Tamashi,Tokyo, 2060035
81-423-575250
www.Bose.co.jp

Mexico
Paseo de las Palmas # 405,
11000
52-55-52-02-35-45
FAX: 52-55-52-02-41-95
www.Bose.com.mx

Nederland
1135 GE Edam
0299-390111
www.Bose.nl

New Zealand
0800 501 511
www.Bose.co.nz

Norge
N-2213 Kongsvinger
62-82-15-60
www.Bose.no

Österreich
Wienerbergstrasse 7
(10.OG)
01-60404340
www.Bose.at

Schweiz
Hauptsrasse 134
061-9757733
www.Bose.ch

Sverige
S-43153 Mölndal
031-878850
www.Bose.se

United Kingdom
1 Ambley Green,
Gillingham Business Park,
Gillingham, Kent, ME8 ONJ
0780-741-4500
Info_uk@Bose.com

Hong Kong
Suite 1203, Midas Plaza, 1
Tai Yau Street, San Po
Kong, Kowloon, Hong
Kong
(852) 21239000
support_hk@Bose.com

Finland
Kornetintie 6b Helsinki, 380
+358 10 778 6900
www.Bose.fi

Poland
ul. Woloska 12
Warszawa, 02-675
+48 (0)22-8522928
www.Bose.pl

World Wide Web
www.Bose.com
www.Boseeurope.com